

令和3年9月1日



村雨こども園
村雨こども園愛分園
村雨こども園なぎさ分園

先月は、線状降水帯が連続して発生し、夕立のような強い雨を降らせ、神戸市内の地域でも、大雨警報や土砂災害警報が発令され、長雨の心配をする日々が続き、子どもたちは、園庭の大きな水たまりを見て過ごす日々が続きました。

いつもなら、園庭や2階のテラスで、思いっきり体を動かして、夏ならではの、様々な水遊びを楽しませてやれる時期でした。

今月は、のびのびと元気いっぱい体を動かして、園庭や園外で遊びたいと思います。

また、長期化するコロナ禍で、子ども達も言葉では上手く伝えられませんが、今までとは違う生活に、ストレスを感じています。

そして、保護者の皆さんも、お仕事の形態や休日の過ごし方、家族でのお出かけやお友達との交際等々の制限と、当たり前だった生活様式が変容し、心身に疲れることも、多くなっている事と思います。

まず、親子共に、新たな生活様式の中でも、規則正しい生活を心がけてほしいと思います。生活リズムが不規則になると、心身の不調を引き起こす原因になります。子どもの中には、「遊びたい」「食べたい」と思える意欲が減少したり、睡眠不足か午前中から眠たいと訴える子どももいます。子どもの生活リズムにも、支障がきているように感じます。子どものストレスサインを見逃さないように、保護者の皆さんと連携して、見守りたいと思います。

そして、保護者の皆さんの生活リズムも整え、心身の体調管理に留意して頂き、まず、保護者の皆さんが、元気に過ごして頂くことで、子どもは、情緒が安定して元気に過ごすことができます。

コロナ禍が長期化しています。何かお困りのことがありましたら、お気軽に事務所にお声をおかけ下さい。また、ホームページからもメールにてお問合せできますのでご活用下さい。

また、全国で新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。従来株よりも子どもの感染リスクが高いとされている「デルタ株」へ、置き換わりました。感染拡大の第5波は、今までと局面が変わったと指摘されています。

子どもから親に感染が広がる事例もふえています。また、子ども同士の接触でも、感染

が広がっているとの報告もあります。

子どもの登園時の検温と咳、鼻水などの健康チェックに合わせて、ご家族の体調チェックもして頂き、こども園内での、感染拡大も防止していきたいと思います。

職員も毎朝出勤時に、検温と体調チェックリストで確認を行い、こども園へウイルスを持ち込まないように留意して勤務しております。こども園は、子ども達が集団で長時間生活する場です。安心安全に過ごせるように、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

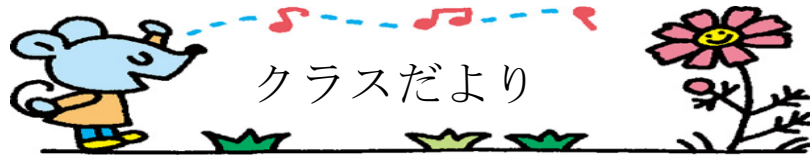


15日(水) ランチデー

17日(金) 誕生日会・避難訓練

21日(火)～24日(金) 発育測定

※新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら
上記以外の行事は検討し、随時、お知らせします。



クラスだより

らっこ組

夏ならではの遊びをたくさん楽しみました。初めての感触に怖がったり不安そうな表情を見せる姿もありましたが、回数を重ねたり時間が経つにつれて自分から手を伸ばし、スライムや水、氷などの感触遊びも少しずつ笑顔を見せながら、様々なものに触れることを喜んでいました。

休息を十分とりながら、たくさん身体を動かしたり初めての遊びを子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思います。



かめ組

初めての水あそびを体験したかめ組の子どもたち。最初は少し緊張していましたが、慣れてくるとたらいの中に手を入れてバシャバシャと水面をたたき、顔が濡れても気にせず楽しむ姿が見られました。

また、氷を触ったりつかもうとし、冷たさを感じながら楽しんでいました。

これからも体調に気をつけながら全身を動かした遊びをたくさん取り入れていきたいと思います。

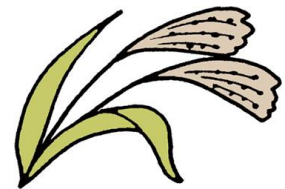


かに組

水あそびでは、水面をたたいて水をバシャバシャしたり、スプーンを使ってカップの中に水を入れたりと思い思いに楽しんでいました。

また、製作では画用紙でつくった傘の上に指スタンプで色をつけました。「楽しい!」「ぼんぼん」と言いながら、上手に指スタンプをしていました。お友だちがしている時には、「頑張れ!」と言い応援していましたよ。

これからも身体をたくさん動かし、元気に過ごせるようにしていきたいと思います。





ぺんぎん組

自分でしようとする姿がたくさん見られるようになってきたぺんぎん組のお友だち。

給食では、スプーンを持って自分で食べようとしたり、ズボンの着脱に興味を持ち、自分でズボンを脱ごうとしたり、一生懸命足を入れて履こうとし、履けたときには「できた！」と嬉しそうに教えてくれます。

また、感触遊びではスライムに触れて遊びました。最初は不思議そうにしていた子もいましたが慣れてくると手で伸ばしたり、ちぎったり、カップの中に入れてたりと感触を楽しみながら遊んでいました。

体調に気をつけ水分補給をしっかりと行いながら、楽しく過ごしていきたいと思います。

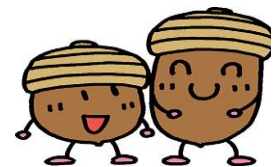
あしか・あざらし組

暑さにも負けず、夏の遊びを楽しんでいる子どもたち。

水あそびでは、お友だちや保育教諭と水をかけあったり、水たまりの上をジャンプして水がはねることを楽しんだりとダイナミックに遊ぶ姿が印象的でした。

衣服の着脱では、回数を重ねるごとに少しずつできることも増えてきました。カゴの中から服をとり、自分で着替えようと頑張っています。自分ですることが難しいときは、保育教諭に「手伝って」と言い、手伝ってもらいながら自分で着替えようとする姿も見られますよ。

これからも体調に気をつけながら、楽しく過ごしていきたいと思います。



いるか組

夏の暑さにも負けず、毎日元気いっぱいのいるか組の子どもたち。

8月はテラスで水あそびを行いました。スーパーボールすくいをして、「たくさんすくえたよ」と教えてくれたり、ブロックを積み上げ水路を作り、水を流して遊びました。



また、ビニール袋に好きな絵を描いてペットボトルと組み合わせたオリジナルの水鉄砲を製作しました。水を入れると袋が膨らむ様子に「わあすごい」と驚いたり、お友だちと水を掛け合い楽しんでいました。また、的当てをして水をあてることができると「やったー！当たった！」と喜ぶ姿が見られましたよ。

これからも水分補給を行いながら元気いっぱい遊びたいと思います。

くじら組

くじら組では、6匹のザリガニを育てています。

エサやりなどのお世話や、エサを食べている様子を観察することを楽しんでいます。

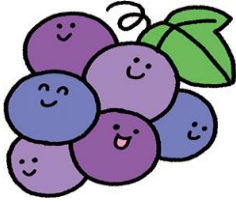
はじめは先生が水槽の掃除をしているところを見ていましたが、今ではザリガニの水かえを当番のお友だちがしています。

生命の大切さを伝えていきながら、クラスみんなで大事なお世話していきたいと思います。

夏の遊びでは、水遊びやスライムなどをしました。友だちとの水のかけ合いをしたり、スライムの形を変えて「ナメクジみたいになった」「色混ぜたらおもしろい」と様々な発見をして楽しんでいました。

これからもたくさん身体を動かして楽しく過ごしていきたいと思います。





かもめ組

夏のあそびを元気いっぱい楽しんでいる子どもたち。

水鉄砲では的あてをし、「100点当てた」「うさぎの的ねらうぞ」と友だちと競い合ったり、水をかけ合い楽しんでいます。

また、ブロックで「ここくっつけたら長いコースできるよ」と友だちと協力しながら水路を作り、上手く水が流れると喜ぶ姿も見られました。

泥あそびでは、「グチュグチュだけど冷たくて気持ちいい」と泥の感触を楽しんだり、泥んこになりながら山などを作って遊びました。

これからも、のびのびと身体を動かし、友だちと一緒に楽しく過ごしていきたいと思います。